

# Vol.29 生活再建リポート

～震災からの生活再建に関する最新情報をお知らせします～



発行：仙台市健康福祉局被災者生活支援室，まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室

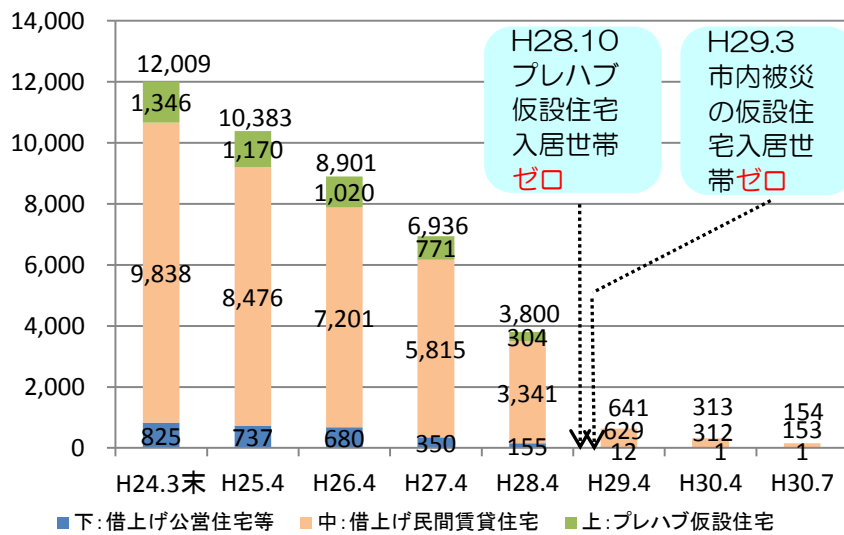
※記事に関するお問い合わせは ☎022-214-8579へ

H30年7月

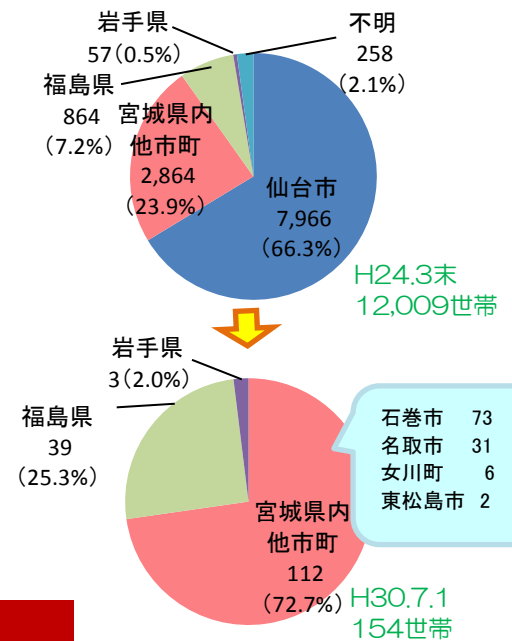
## 入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- ・市内の仮設住宅入居世帯は154世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の1.3%まで減少しています。
- ・市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建され、仮設住宅には市外で被災された世帯のみが入居されています。
- ・プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



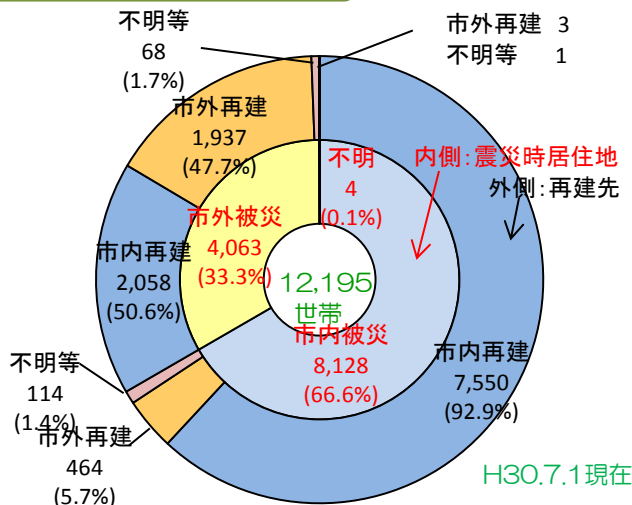
震災時の居住地別入居状況



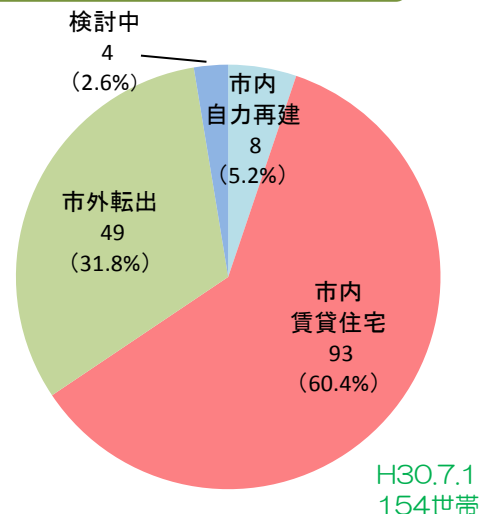
## 入居世帯の住まいの再建

- ・これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。
- ・現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約66%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。
- ・平成30年度末までには、特定延長及び福島県被災で避難指示対象となっている世帯を除き、ほとんどの世帯が再建される予定であり、これまで取り組んできた再建支援業務も、ひと区切りとなります。

震災時の居住地別再建状況

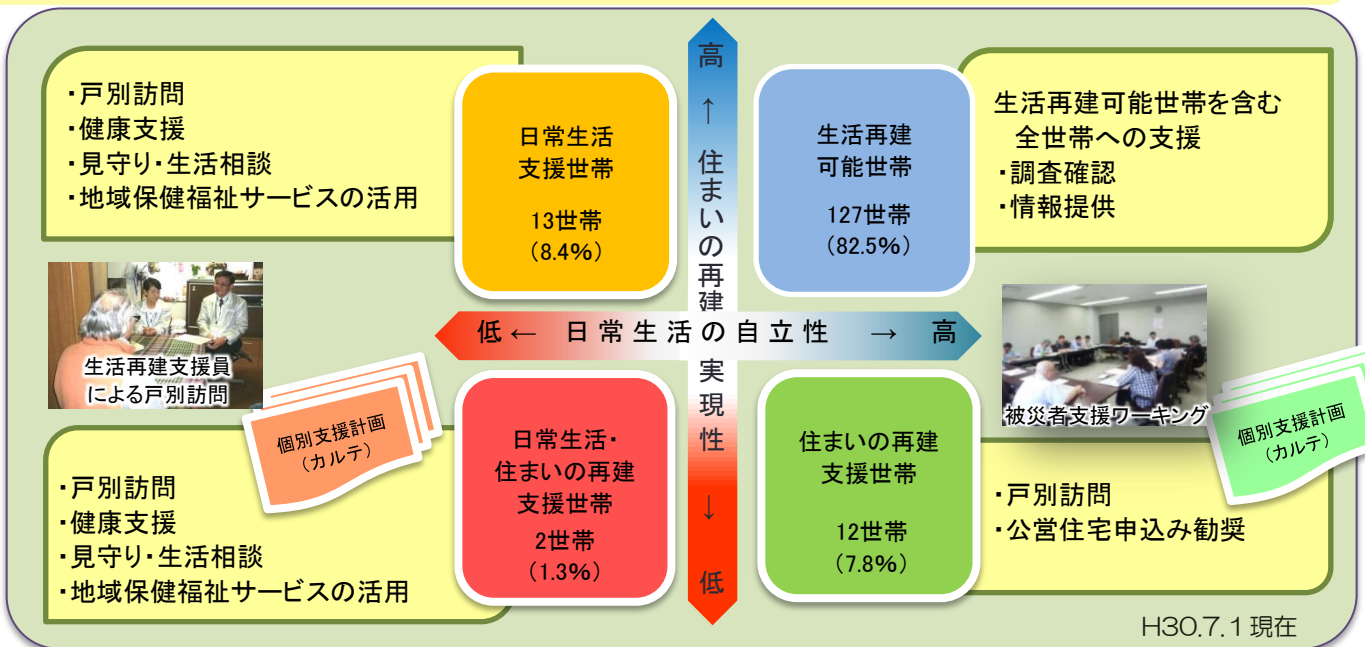


仮設住宅入居世帯の再建方針



# 入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



## つながりの輪が広がります ～「つなぐ・つながるプロジェクト」～

復興公営住宅と地域のコミュニティ活性化を後押しする「つなぐ・つながるプロジェクト」の一環として、復興公営住宅自治会の役員・民生委員・地区社協役員等の皆様と支援団体の皆様にお集まりいただき、「住民同士の見守り活動について」をテーマに情報交換・交流会を開催しました。

自治会と支援団体がお互いにそれぞれの立場を理解し、今のステージに合った連携・協力関係を築き、つながりの輪を広げるとともに、それぞれの自治会で今よりも一歩踏み込んだ活動を考えるきっかけとなり、地域で見守るための体制作りが、一段と進みました。

### 話題提供

「見守り活動はなぜ必要なのか？」

災害公営住宅の20年後の姿（課題）を過去の被災地から学ぶことで、コミュニティづくりの大切さについてお話いただきました。

東北学院大学地域共生機構 特任教授 本間 照雄 先生

### 情報交換会の様子

コツコツとやっていくことだ

声がかから始めることね

気遣いや、あきらめない気持ちが大事！

お助け隊が必要！困ったときに近所にいてくれればいいね

### 交流会の様子

うちではこんな活動をしています

さあ！伸びて！伸びて！

《 アンケートより 》

- ★同じ立場の人、様々な立場の人の話が聞けてよかった
- ★地域の課題について知ることができた
- ★今後の活動のヒントがもらえた など